



発行日 平成 29 年 6 月 20 日
田村病院ニュース 第 125 号
発行責任者 木下定子
編集責任者 浦田雅弘

5 月末から 6 月の初めにかけて病院周辺では田植えに大忙しでしたが、今はそれも一息つき静かな田園風景が広がっています。近畿地方では 6 月初旬に梅雨入りが発表され、これから 1 か月余りじめじめした日が続きますがこれも農家にとっては大切な時期であり、ぐちを言わず“梅雨”と楽しく付き合ひましょう。

そして田んぼに水が入ったこの時期は、夜には肌寒く感じる時さえあります。蒸し暑い日中、肌寒い夜と体調面には十分気を付けてください。それから熱中症、食中毒予防も忘れずに。

反面教師

反面教師

私たちは勤務に就くと入院患者さんや外来患者さん、デイケアや OT を利用している方に常に接しています。目に見えないところに働きかける私たちは“その人”に合った対応が求められ、そのスキルは自分自身で磨いていかなければ誰かが教えてくれるわけではありません。

患者さんはじめ“人”と接するときには、対応している自分をもう一人の自分が客観的に評価し、自身の振り返りを重ねてこそ身についていくものだと思います。今月は庵尾看護部長から“組織の中での自分のあり方”を考えるお話です。

「大勢の人と仕事をしていると他の人の言動に“なぜ”と思うことがあります。自分とは違う方法、時間の使い方、対応の仕方等を見て、自分に置き換え自分の中に“理想”を作ってきたと思いますが、自分がとる言動や方法などは反面教師から学べばいいと思います。

これは理想としない人を邪険に扱うことではなく、自分自身を振り返るために活用するので。 “人の振り見て我が振り直せ”ということわざがあるように他人の言動を見て、取り入れるべきところは素直に取り入れ、常に自分を振り返りましょう。

皆さんもこれからたくさんの人と関わり多くのことを学び、それを活用していきましょう。」といった内容のお話でした。

組織の中で働くということは自分に役割を与えられるということです。その役割の持つ意味や必要性を十分把握するか否かで働く質が随分と変わってきます。私たちは自分の役割を



全うするために、常にその質の向上を目指していかなければなりません。それが自身に、企業に、さらには社会の貢献へとつながっていくのですから…。

病院掲示板

=看護部です=

今年も看護学校の生徒が実習に来てくれました。女性9名、男性2名の計11名です。7月の初旬まで実習を行っていますから、外来やOTで見かけたらよろしくお願ひしますね。この実習で少しでも精神科医療に興味をもっていただければ幸いです。



=災害対策委員会です=

6月1日に消防署職員立ち合いによる消防避難訓練を実施しました。車いす使用の方や寝たきりの方など避難方法を確認しながらの訓練でした。消防職員の方からは今後の訓練への取り組みのポイントや新人職員には消火器の取り扱いの実施訓練をしていただきました。

心理教育のお知らせ

心理教育プログラムの担当の石井です。

今回から4回に分けて心理教育プログラムについてお話していきたいと思います。まず、当院で行っている心理教育とは統合失調症の入院患者様を対象にした集団プログラムになります。

統合失調症について①病気の特徴、②薬の必要性について、③再発予防について、④よりよい生活について、⑤まとめという内容の5回シリーズで、講師の先生方から説明をし、患者様の疑問や質問に答えさせて頂いております。1週間に1回、40分ほどの時間になっており、3～6名の患者様に参加して頂いております。平成27年6月から定期的で開催して、約20数名参加されており、今後も継続して行うことになっています。



今回は豊田先生に①病気の特徴についての記事を連載します。

=編集後記=

私も嫁の実家の田植えの手伝いに行ってきました。前日まではいい天気でしたが当日は朝から雨で雨合羽を着ての作業となりました。今は田植え機があるので缶ビールを飲んでいながら田んぼ一つが終わってしまいます。

(缶ビールを飲みながら事故がないように見守るのもお手伝いの一つです。おわり…)

=うらた=

